

地域で支える力

支部福祉協力員の活動

日高学区には、支援を必要とする高齢者や障害のある方が205名います。日高学区市民自治会福祉委員会が行う要支援者



支部福祉協力員全体会議のようす

を支える事業として、支部福祉協力員制度があり活発な活動をしています。委嘱された45名の支部福祉協力員は民生委員と関わりながら、日頃の見守りや自主防災訓練時の安否確認・支援助資配付訓練を行っています。3月7日には、鶴の岬の会議室で支部福祉協力員全体会議を行い、日頃の活動に対しての感謝と共に、活動を通しての疑問や意見などを協議しました。

特に、日高学区災害時避難行動要支援者対応の指針が策定されたことに伴い、災害時の対応は支援者に危険が及ばないよう災害中の活動は絶対にならないことを確認しました。地域福祉は誰もが安心して地域で暮らせるよう住民どうし支え合

な場面でお役に立っています。

車椅子をご利用ください

日高学区市民自治会福祉委員会では、無料で車椅子の貸出しを行っています。今年度は、延べ40名の方にご利用いただきました。レジャーは勿論のこと、通院、買い物、散歩など様々

「ちよつとそこまで」や「今日は天気が良いので、母と一緒に桜を観に行きます」など、ぜひお気軽にお使いください。原則2週間を限度に貸出ししています。問合せ先 日高学区社会福祉委員会 ☎43-11250

うことが大切です。近所の高齢者等に異変がないか遠くから見守ることも立派な福祉活動の一つです。

笑いを絶やさず45年 日高シルバークラブ



みんな仲良く楽しんでいます

会員数43名の日高シルバークラブは、毎週金曜日に日高交流センター体育館で軽体操、ストレッチ体操、バドミントン、ソフトバレーボールで各人の体調に合わせて体を動かしています。昭和54年に発足し、45年経った今もオールシーズン自分のペースで体を動かして汗を流しおしゃべりを楽しんでいきます。年齢層は70〜80歳代とありますが、活動日は、毎回体育館の外まで笑い声や元気な声が響いています。皆さんのほとんどが長年継続し、中には免許返納後も日立から電車バスを乗り継ぎ参加している方もいます。笑いと会員の健康を大切に考えている代表の野原さんは、「これからも、皆で楽しく続けていきたいです。興味のある方は気軽に見学に来てください」と素敵な笑顔で話していました。

青少年健全育成のための市民の集いで受賞

日立市教育委員会が毎年実施する教育長表彰と日立市青少年育成推進会議が実施する少年の主張および家庭の日の絵画・ポスター部門において、日高小学校、中学校の生徒が左記の賞を受賞し、2月18日に日立シビックセンターで表彰状が授与されました。

日立市教育委員会 教育長表彰

日高小6年

加古 瑠莉那(るりな) (手紙作文コンクールで 文部科学大臣賞を受賞)

日立市青少年育成推進会議 少年の主張表彰 優秀賞

日高小3年

星野 弦光(げんき) 木内 愛菜(あいな)

ふるさと

郷土ひたか (22)

おきつせ 澳津説神社の

三十六歌仙絵馬

澳津説神社の拝殿の鴨居には拝殿内を取り囲むように三十六歌仙の額と絵馬が掛けられている。神主の石堂さんによると、この額は明治維新前後に地元の子供から奉納されたものである。

荒川 羽音(うた) 日高小6年

柴田 真帆(まほ) 加古 瑠莉那

日高小4年 黒沼 美波(みなみ)

家庭の日絵画・ポスター

日高小6年

表彰 最優秀賞 黒澤 一花(いちか)



拝殿内の絵馬

長い年月に晒され、今ではその姿も薄れかけているが、目を凝らすと百人一首などで馴染みのある歌人たちの姿とその歌、さらにその額を奉納されたと思しき氏子たちの名前がうつすらと判読できる。

一般的に、絵馬は合格祈願や自らの幸せを神様にお願いする目的で奉納されるようだが、ここに掲げられた短歌の絵馬を見ると、この地に住んでいた我々の先祖が文化的教養を持つていたことを伺い知ることができ、さらに、当時どのような気持ちでこの絵馬を奉納したのだろうかとの想像を

も掻き立てられる。(絵馬の中から一首) 世の中に 絶えて櫻のなかりせば 春の心はのどけからまし 在原業平



在原業平

日立市ふるさと文化財シリーズより抜粋

三十六歌仙絵馬は36枚の扁額として澳津説神社拝殿内の鴨居にぐるりと掲げられています。この絵馬は江戸期から明治の初めのものであり、それぞれの絵馬に氏子たちと思われる願主の名が記されています。絵馬にはそれぞれ三十六歌仙の詠んだ歌とその歌人の肖像(肖像)が描かれ、現在もそれほど剥落など損傷も少なく、立派なものです。

三十六歌仙は平安中期の11世紀に藤原公任(ふじわらのきんとう)が選んだ36人の歌人に基づくと言われています。この三十六歌仙が絵馬として、神社などに奉納されるようになるのは室町期からで、江戸期から明治期にかけて増えます。ですので、澳津説神社ばかりでなく三十六歌仙の絵馬は全国的に現存し、県内でも筑波山神社や那珂市・静神社などのものがよく知られています。